第79回生命科学先端研究センター
学術セミナー

日時：平成24年６月22日（金）午後５時から

場所：杉谷キャンパス 薬学部研究棟Ⅱ７階 セミナー室８

講師：藤森俊彦 先生（自然科学研究機構 基礎生物学研究所・教授）

演題：「細胞の挙動を解析してほ乳類初期発生を考える」

内容

　ほ乳類の初期発生において、受精卵という一見対称な形から発生が始まり、どのように細胞が分化し、体の軸が決められるか、胚の形が作られるかを解明することを目標としている。胚の形作りの基盤となる細胞の挙動、それにともなう遺伝子の挙動を理解することが必要である。細胞系譜解析の結果、４細胞期までの割球間においては将来の運命の偏りが無いことが示唆された。更に個々の細胞の性質がどのように決まるか、子宮の中で胚やその細胞がどのような挙動をしているかを解析中であり、最近の知見を紹介したい。

　初期胚の理解の為に、ライブイメージングに用いる細胞内オルガネラなどを特異的に蛍光標識するトランスジェニックライン系統を樹立、観察用の新規顕微鏡等の技術開発を進めており、これらの状況についても解説したい。

※本セミナーは、大学院医学薬学教育部の単位認定の対象となります。多数の教職員・学生の来聴を歓迎します。

◎問い合わせ先

笹原正清（大学院医学薬学研究部(医学)・教授）
電　話：076−434−7238
メール：sasahara@med.u-toyama.ac.jp